

受付業務や窓口業務に特化した新発想のインクジェット複合機“GX6530”を発売  
フロント操作の ADF による設置性向上と対面業務の効率化を実現

キヤノンは、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載したビジネス向けインクジェットプリンター「GX シリーズ」の新製品として、プリンター前面から ADF（自動原稿送り装置）でのスキャンができるカラーインクジェット複合機“GX6530”を 2023 年 9 月 28 日に発売します。



GX6530



前面から ADF スキャンが可能



対面業務をサポート

ホテルや金融などお客様と対面する受付業務や窓口業務では、身分証明書のコピーや契約書の印刷など、接客をしながらさまざまな紙文書の処理を行っています。対面業務では、お客様を待たせない、コミュニケーションを分断させないといった接客が求められますが、一方でスペースに制約のある接客現場にはプリンターを設置できず、お客様の元を離れバックヤードで作業をしなければならないケースがあります。新製品は、プリンターの前面から操作する ADF の採用により、左右にスペースのない棚の中や高さの制約があるカウンターの下にも無理なく設置でき、対面業務でのスムーズな接客をサポートします。

■ フロント操作の ADF により設置性と作業効率性を向上

ADF の給紙および排紙トレイをプリンター前面に配置することで、ADF の操作に必要なプリンター横・上部のスペースを不要とし、受付・窓口カウンター内への設置を可能にしました。また、ADF は一度のスキャンで両面原稿を同時に読み取ることができ、スキャン時間を短縮します。原稿台でのスキャンは、原稿位置合わせの基準を右手前に配置することで、原稿台カバーの大きな開閉操作を不要としました。さらに、ガラス面上では滑って扱いづらいプラスチック製の ID カードなども、スキャン後に手前にスライドさせることで容易に取り出すことができます。お客様とコミュニケーションをとりながら手でスキャンやコピーができ、作業の効率化を実現します。

■ 高速印刷で受付や窓口での出力業務を効率化

A4 モノクロ文書で毎分約 24.0 枚<sup>※1</sup>、A4 カラー文書で毎分約 15.5 枚<sup>※1</sup>の高速印刷により、銀行窓口での契約書などの印刷時間を短縮します。また、ファーストプリント<sup>※2</sup>は A4 モノクロ文書で約 7 秒、A4 カラー文書は約 8 秒を実現し、申請書や受付用紙など速やかな印刷が求められる窓口や受付カウンターに適しています。

※1. 普通紙への文書印刷速度は ISO/IEC 24734 のオフィスカテゴリーテストによる片面印刷 ESAT（Estimated Saturated Throughput）の平均値です。

※2. ファーストプリントは ISO/IEC 17629 の FPOT（First Print Out Time）from ready の平均値です。

製品名	希望小売価格	発売日
GX6530	オープン価格	2023年9月28日

## 〈主な特長〉

### 1) フロント操作の ADF により設置場所の自由度を向上

- ADF の給紙および排紙トレイをプリンター正面に配置し、すべてのスキャンをフロント操作にすることで、原稿のセットや取り出しに必要なプリンター横側の操作スペースを不要とし、棚の中や机下のフットスペースなどにも設置可能。
- フロント操作により、受付などのカウンター下に設置したプリンターを左右から 2 人で共有することも可能。



棚の中や机下にも設置可能



左右から 2 人でプリンターを共有

### 2) スキャン・コピーの効率化でスムーズな対面業務を実現

- 最大 35 枚の A4 普通紙を積載可能な ADF を搭載。一度のスキャンで両面原稿を同時に読み取ることができ、スキャン時間を短縮。
- 原稿台は、原稿位置合わせの基準を右手前に配置。原稿台カバーを大きく開閉する必要なく原稿の設置や取り出しが可能で、スムーズな対面業務をサポート。
- 原稿台手前の原稿取り出しエリアでは、ガラス台との段差をなくすことより、スキャンし終えた ID カードなどを手前に滑らせるだけで容易に取り出しが可能。
- ADF の給排紙トレイ、およびプリンターの排紙トレイにクリアパーツを採用し、すっきりとした印象のデザインを実現。



原稿位置合わせの基準を右手前に配置



手前に滑らせるだけで容易に取り出しが可能



ADF にクリアパーツを採用

### 3) 高画質・高生産性と低ランニングコストを両立

- A4 モノクロ文書で毎分約 24.0 枚、A4 カラー文書で毎分約 15.5 枚の高速印刷を実現。窓口業務における提案書や契約書などの印刷時間を短縮。
- ファーストプリントは A4 モノクロ文書で約 7 秒、A4 カラー文書は約 8 秒を実現し、申請書や受付用紙など速やかな印刷が求められる窓口や受付業務に好適。
- 特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載し、インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページあたり約 0.8 円<sup>\*1</sup>、A4 カラー文書 1 ページあたり約 2.2 円<sup>\*1</sup> の低ランニングコストを実現。ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 6,000 ページ<sup>\*2</sup>、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合は A4 約 14,000 ページ<sup>\*2</sup> 印刷可能。
- インク消費量を減らして印刷濃度が薄くなるエコミーモードでは、ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 9,000 ページ<sup>\*2</sup>、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合は A4 約 21,000 ページ<sup>\*2</sup> の印刷が可能となり、低ランニングコストを実現。

- 全色で独自開発の顔料インクを採用。小さな文字でもくっきりと印刷できるほか、両面印刷時にも印刷濃度を下げることなく裏写りの少ない鮮明な印刷が可能。
- インクは、保存性・耐久性に関する国際規格「ISO11798」を取得。高い耐水性・耐マーカ-性により、印字部にマーカ-を引いてもにじみにく<sup>※3</sup>、こすれにも強い<sup>※3</sup>ため、書き込みや保管することが多いビジネス文書に好適。

- ※1. 税込み。普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」(一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) 制定)に従い記載しています。測定環境の詳細は、キヤノンホームページをご参照ください。
- ※2. 印字可能枚数は、A4 カラー文書 ISO/IEC 24712 を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出したものです。いずれも初めてプリンターを使用する際に充填 (じゅうてん) したインクボトルではなく、2 回目以降に充填するインクボトルを使用して算出しています。
- ※3. 用紙やマーカ-によってはにじむ場合があります。マーカ-を使用する場合は、印刷後 5 分程度経ってから使用することを推奨します。

#### 4) 簡単なメンテナンスで管理の容易性を向上

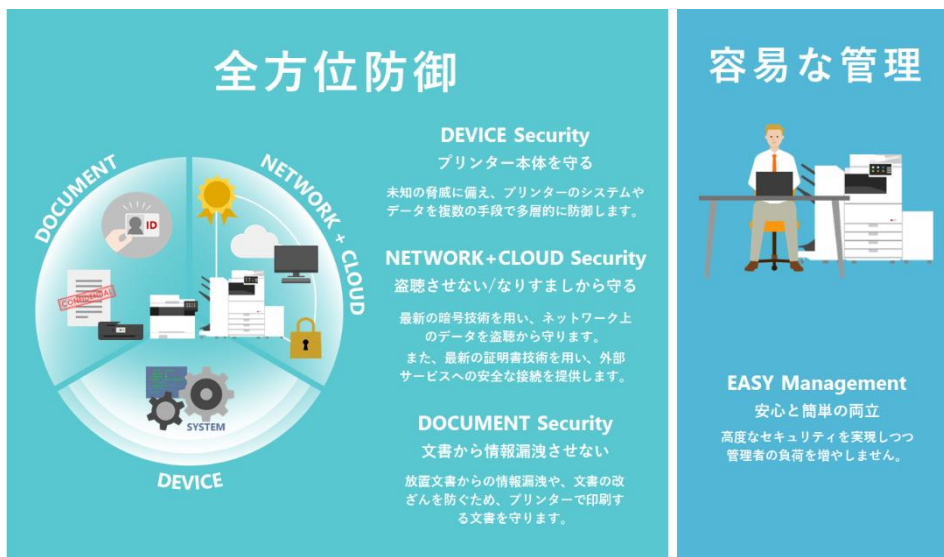
- インクボトルをインクタンクの注入口に挿すだけでインクの注入が始まり、満量になると自動的に注入が停止するため、簡単にインク補充が可能。また、インクボトルとインクタンクの注入口の接合部分に、色ごとに異なる形状を採用することで、誤った色のインク注入を防止。
- メンテナンスカートリッジは、ユーザー自身で交換可能。修理の手間や時間を減らし、印刷のダウンタイムを低減。



簡単なインク補充

#### 5) 強固なセキュリティーで情報漏えいを未然に防止

- プリンター本体 (DEVICE)、ネットワーク (NETWORK+ CLOUD)、印刷物 (DOCUMENT) の全方位からセキュリティー対策を実施。また、高度なセキュリティーながら管理が容易なため、管理者の負荷を低減。
- DEVICE Security においては、起動時にプログラム改ざんの有無を検証し、安全性を確認して起動を実行。問題があった場合は起動を停止し、不正なプログラムによる被害を未然に防止。最新のファームウェアへの更新を実施すれば新たに発見された脅威への対応も可能。
- NETWORK+ CLOUD Security においては、通信の強固な暗号化プロトコル「TLS1.3」の搭載に加え、無線 LAN のセキュリティープロトコル「WPA3」と、不正アクセスを防止するユーザー認証規格「IEEE802.1X」に対応。ネットワーク上のデータ保護とクラウドへのセキュアな接続を実現。
- DOCUMENT Security においては、オプションの「Hybrid Work Print Standard」を活用することで、プリンター本体のパネルで印刷指示をしてから印刷を開始できる「留め置き印刷」に対応し、印刷物の放置や持ち去りを防止。
- EASY Management においては、ネットワークを経由して遠隔操作・監視のできる「リモート UI」により、Web ブラウザからプリンターの状況確認や各種設定が可能。



本体・ネットワーク・印刷物の全方位を防御するセキュリティー対策

### 〈インクジェットプリンターの市場動向〉

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2022年のカラー機出荷台数は国内では約345万台、全世界では約5,711万台でした<sup>※1</sup>。2023年のカラー機出荷台数については国内では約337万台、全世界では約5,419万台と見込まれています<sup>※2</sup>。

※1. 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2023Q2 Final Historical  
※2. 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2023Q2 Forecast Release

### 〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。